

令和元年度 歯科衛生学科第3学年シラバス

◆基礎分野

	page		page		page
倫理学	1				

◆専門基礎分野

保健福祉行政	3				
--------	---	--	--	--	--

◆専門分野

う蝕予防処置法	4	歯周病予防処置法	6	口腔保健管理法	8
保健指導法(行動科学)	9	栄養指導法	11	歯科診療補助法	12
インプラント歯科診療補助法	13	救急蘇生法	14	病院等臨床実習	15
臨地実習	16				

◆選択必修分野

研究	17	接遇	18	特別講義	19
----	----	----	----	------	----

第3学年 倫理学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教養教育センター 人間科学科(哲学分野) 教授 遠藤寿一
一般目標	生命倫理学が扱う問題の本質を理解し、対立する諸見解を整理して、説得力のある解決法を自分の視点から構築できるようにする。
成績評価	筆記試験(80点)+平常点(20点)=100点
参考書	村松・松島編「教養としての生命倫理」(丸善出版) 村上喜良著「基礎から学ぶ生命倫理学」(勁草書房) 医療倫理Q&A刊行委員会著「歯科医療倫理Q&A」(太陽出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	1	火	1	遠藤	生命倫理学の誕生	・生命倫理学誕生の経緯を説明できる。
2	10	1	火	2	遠藤	安楽死(1)	・安楽死の現状を説明できる。
3	10	8	火	1	遠藤	安楽死(2)	・安楽死の倫理的問題点を指摘できる。
4	10	8	火	2	遠藤	安楽死(3)	・安楽死の今後を展望する。
5	10	15	火	1	遠藤	移植医療(1)	・脳死移植の内容を説明できる。
6	10	15	火	2	遠藤	移植医療(2)	・移植医療の問題点を指摘できる。
7	10	29	火	1	遠藤	移植医療(3)	・移植医療の今後を展望する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	10	29	火	2	遠藤	生殖医療(1)	・生殖医療の現状を説明できる。
9	11	12	火	1	遠藤	生殖医療(2)	・生殖医療の問題点を指摘出来る。
10	11	12	火	2	遠藤	生殖医療(3)	・生殖医療の今後を展望する。
11	11	19	火	1	遠藤	人工妊娠中絶(1)	・人工妊娠中絶の現状を説明できる。
12	11	19	火	2	遠藤	人工妊娠中絶(2)	・人工妊娠中絶の問題点を指摘できる。
13	11	26	火	1	遠藤	人工妊娠中絶(3)	・人工妊娠中絶の今後を展望する。
14	11	26	火	2	遠藤	優生思想	・優生思想の問題点を指摘できる。
15	12	11	水	1	遠藤	定期試験	

第3学年 保健福祉行政

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 助教 大石 泰子 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 非常勤講師 杉浦 剛
一般目標	歯科衛生士として適切な業務ができるために、衛生行政の制度、法規について理解する。
成績評価	定期試験により評価する。再試験は1回行う。
教科書	「歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険第9版」(医歯薬出版)
参考書	「国民衛生の動向」(厚生統計協会) 「歯科保健関係統計資料」(口腔保健協会)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	26	木	1	大石	衛生行政の目的 衛生行政の組織 (四. IX-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 衛生行政組織を概説する。 保健所の設置基準と業務を説明する。 市町村保健センターの役割を説明する。
2	10	3	木	1	大石	厚生関係統計調査1 国民の健康状態と受療状況1 (四. IX-3-C VI-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 国の行う保健統計調査と厚生関係統計を理解する。 国民の健康と疾病の状況を理解する。
3	10	10	木	1	大石	厚生関係統計調査2 国民の健康状態と受療状況2 (四. IX-3-C VI-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科保健関係統計を列挙する。 歯科疾患実態調査の概要を説明する。
4	10	17	木	1	大石	医療施設 保健医療従事者 (四. IX-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療施設と保健医療従事者の現状を理解する。 他の保健医療職種とその役割を列挙する。
5	10	31	木	3	杉浦	法制概論 歯科衛生士法1 (四. IX-2-A・B 五. I-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 法の概念と種類を理解する。 歯科衛生士法の目的、および歯科衛生士の定義、業務、法的責務を理解する。
6	10	31	木	4	杉浦	歯科衛生士法2 医療関係者に関する法律 (四. IX-2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士法の目的、および歯科衛生士の定義、業務、法的責務を理解する。 医師法、歯科医師法、歯科技工士法、保健師・助産師・看護師法などの概要について学習し、歯科衛生士法との関係を理解する。
7	11	14	木	3	杉浦	医療法 薬事関係法 地域保健関係法 (四. IX-2-F~H) 社会保障関係法 (四. IX-4-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士の業務にかかわる関係法規を理解する。
8	12	11	水	2	大石 杉浦	定期試験	

第3学年 う蝕予防処置法

時間数	38時間 (2時間×19回)
担当者	教員 鳥畑美香 非常勤講師 福田恵理子 城内明日香
一般目標	歯科衛生士が歯科臨床の現場で行うう蝕予防の処置について、安全かつ適確な操作方法を習得する。また対象に応じたう蝕予防処置プログラムの立案について習熟する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版株式会社)
参考書	「新フッ化物ではじめるむし歯予防」(医歯薬出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1・2	5	20	月	1・2	鳥畑 福田 城内	第3・4実習室	小窩裂溝填塞法 (学生相互実習) 1)ラバーダム防湿 2)小窩裂溝填塞 (七. III-4-A~D 九. III-1-A)	・小窩裂溝填塞を適確な操作及び共同動作ができる。
3・4	6	3	月	1・2	鳥畑 福田	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)トレー法(マウスピース) (ゲル) (四. III-3-F 七. III-3-A~C)	・フッ化物歯面塗布法溶液を安全に実施できる。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができる。
5	11	21	木	3	鳥畑	第3講義室	う蝕活動性試験 1)う蝕活動性試験の実際 2)う蝕予防プログラム (四. I-4-A、III-1-E 七. III-2-A・B)	・う蝕活動性試験の条件および検体と評価項目を説明できる。 ・相互実習の内容を把握し、判定結果に対する予防プログラムの立案方法を理解できる。
6・7	11	25	月	2・3	鳥畑 城内	第3・4実習室	う蝕活動性試験 1)口腔内診査 2)う蝕原因菌酸産生能測定 3)唾液分泌量測定 4)唾液緩衝能測定 5)SM・LB菌数測定 6)プラーク蓄積量測定 7)生活習慣調査 (2回目:再評価) (四. I-4-A、III-1-E 七. I-2-A、 III-2-A・B)	・う蝕活動性試験を実施できる。
8	11	29	金	4	鳥畑	第2実習室	う蝕活動性試験 1)培養結果の判定 2)再評価 (四. I-4-A、III-1-E 七. III-2-A・B)	・う蝕活動性試験の判定結果を比較しカリエスリスクの変化を評価できる。
9・10	12	3	火	1・2	鳥畑	第3講義室	う蝕活動性試験 1)考察、まとめ (四. I-4-A、III-1-E 七. III-2-A・B)	・学生各自のう蝕予防プログラムの実践結果を判定しカリエスリスクの変化を説明できる。
11・12	12	3	火	3・4	鳥畑	第3講義室	う蝕活動性試験 1)発表 (四. I-4-A、III-1-E 七. III-2-A・B)	・カリエスリスクの変化を判断し、作成したプログラム内容および再評価について発表できる。
13	12	4	水	1	鳥畑	第3講義室	う蝕予防処置総論 1)う蝕予防の種類と目的 2)フッ化物応用 3)フッ化物の安全性 4)小窩裂溝填塞法 (四. III-3-C~F、 七. I-1-A・C、 III-3-A~C、4-A~D、 5-A~D)	・う蝕予防処置の法的位置づけを理解し種類を説明できる。 ・フッ化物応用時の安全の配慮ができるよう、フッ化物の量を計算できる。 ・小窩裂溝填塞材の種類と特徴、適応症、術式および実施上の注意事項を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
14	12	4	水	2	鳥畑	第3講義室	フッ化物洗口法 1) 集団のフッ化物洗口 2) 漱口液の調整 3) フッ化物洗口法と漱口後の指導 (四. III-3-F 七. III-5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に対するフッ化物洗口を想定し、その流れや漱口液の調整方法、注意点を理解できる。 ・適切な術後指導ができる。
15 ・ 16	12	4	水	3 ・ 4	鳥畑	第3講義室	フッ化物洗口法 1) 集団のフッ化物洗口の実施 (四. III-3-F 七. III-5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に対するフッ化物洗口を想定し、その流れや漱口液の調整方法、注意点を理解し実施できる。 ・適切な術後指導ができる。
17 ・ 18 ・ 19	12	5	木	1 ・ 2 ・ 3	鳥畑 福田	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 小窩裂溝填塞の経過観察 (四. III-3-F 七. III-3-A~C、4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に合わせ、フッ化物製剤と塗布法を選択し、フッ化物歯面塗布を実施することができる。 ・小窩裂溝填塞後の経過観察ができる。 ・適切な術後指導ができる。
	12	13	金	1	鳥畑	第3講義室	定期試験	

第3学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間（2時間×30回）
担当者	教員 太田彩香 教務主任 鈴木奈津子 非常勤講師 福田恵理子 城内明日香 高橋径子
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持、増進させるために必要な専門的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答(90%)平常点(10%)により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2 ・ 3	4	12	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周病予防処置法実技／学生相互実習 1 1) 超音波スケーラー 2) 歯面清掃器 3) エアスケーラー 4) サスブラシ® 5) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・学生相互の口腔内において手用スケーラー以外による各種器械の取扱い及びスケーリング、歯面研磨操作ができる。
4 ・ 5 ・ 6	4	18	木	1 ・ 2 ・ 3	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周病予防処置法実技／学生相互実習 2 1) 超音波スケーラー 2) 歯面清掃器 3) エアスケーラー 4) サスブラシ® 5) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・学生相互の口腔内において手用スケーラー以外による各種器械の取扱い及びスケーリング、歯面研磨操作ができる。
7	5	13	月	3	太田	第1実習室	拡大鏡の使用 方法 (四. II-1-B、 七. II-2-A)	・拡大鏡の使用法を正しく理解し、適切に装着できる。 ・拡大鏡を装着し、安全にプロービング、PMTCを行うことができる。
8 ・ 9 ・ 10	5	27	月	1 ・ 2 ・ 3	太田 城内 高橋	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ①上顎前歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
11 ・ 12 ・ 13	6	10	月	1 ・ 2 ・ 3	太田 城内 高橋	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ②下顎前歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
14 ・ 15 ・ 16	6	17	月	1 ・ 2 ・ 3	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ③下顎右側臼歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
17 ・ 18	7	8	月	1 ・ 2	太田	第3講義室	歯周病におけるメンテナンス (七. II-6-A・B)	・歯周病におけるメンテナンスの目的を説明できる。 ・メンテナンス時の評価項目と方法、処置について説明できる。 ・歯周病のリスクとメンテナンスの必要性を説明できる。
19	9	2	月	4	太田	第1実習室	手用スケーラーのシャープニング 1)キュレットスケーラー 2)鎌型スケーラー (七. II-4-C)	・各スケーラーの刃部の形態を説明できる。確実なシャープニング操作及びカッティングエッジの切れ味の確認操作ができる。
20 ・ 21 ・ 22	10	17	木	2 ・ 3 ・ 4	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ④下顎左側臼歯部 1)歯周組織検査 2)SRP 3)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
23 ・ 24 ・ 25	10	24	木	1 ・ 2 ・ 3	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ⑤上顎左側臼歯部 1)歯周組織検査 2)SRP 3)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
26 ・ 27 ・ 28	10	30	水	1 ・ 2 ・ 3	太田 福田 城内	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ⑥上顎右側臼歯部 1)歯周組織検査 2)SRP 3)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
29	11	18	月	2	太田	第3講義室	偶発事故 1)術者側の偶発事故 2)患者側の偶発事故 (五. I-5-A)	・歯周病予防処置時に起こり得る偶発事故とその予防方法について説明できる。
30	12	10	火	2	太田	第3講義室	定期試験(筆答)	

第3学年 口腔保健管理法

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	教務主任 鈴木奈津子 教員 太田彩香
一般目標	口腔の健康管理を行うために歯科予防処置論、歯科保健指導論を総合的にとらえ実践できる知識・態度・技術を身につける。
成績評価	提出物により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	「よくわかる歯科衛生過程」(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	10	木	2	鈴木 太田	模擬患者実習／事前準備・1 1) 歯科衛生アセスメント 2) 歯科衛生診断 3) 歯科衛生計画立案 4) 歯科衛生介入 5) 歯科衛生評価 (五. I-3-A~F)	・模擬患者を対象とした過去2回の実習を評価し、歯科衛生計画の見直しができる。
2 ・ 3 ・ 4	11	1	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 城内	模擬患者実習／事前準備・2 1) 問診 2) 口腔内写真撮影 3) 歯周組織検査 4) ワンポイントブラッシング指導 5) PMTC 6) 患者への説明 (五. I-3-A・B 七. II-2-A~C・E・F、5-A 八. III-2-A・B)	・再度メディカルインタビューを行い対象者の実情に即した歯科衛生介入ができる。
5 ・ 演習	11	7	木	1 ・ 2	鈴木	模擬患者実習まとめ 1) 歯科衛生アセスメント 2) 歯科衛生診断 3) 歯科衛生計画立案 4) 歯科衛生介入 5) 歯科衛生評価 (五. I-3-A~F)	・模擬患者を対象とした3回の実習について、歯科衛生過程全体の評価ができる。
6 ・ 7	11	29	金	1 ・ 2	鈴木 太田	模擬患者実習まとめⅡ 1) プレゼンテーション	・模擬患者実習で実践した歯科衛生過程をまとめ、プレゼンテーションにおいて質疑応答ができる。
8	12	13	金	2	鈴木	定期試験(筆答)	

第3学年 保健指導法（行動科学）

時間数	45時間（2時間×23回）
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男 教養教育センター人間科学科(心理学・行動科学分野) 教授 相澤 文恵 佐藤 佳奈枝
一般目標	健康教育における行動科学の位置付けを確認するとともに、保健行動の基本的理論を理解し、各種の理論を実際の保健指導に応用する基礎を作る。
成績評価	筆答、実習評価、提出物により総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) 「医療における社会行動科学2019」
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	月	3	相澤	医療における行動科学 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療における行動科学の位置づけを理解する。 ・さまざまな健康観について理解する。
2	9	30	月	4	相澤	行動や生活様式と健康・病気 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と行動の関連性を理解する。 ・ソーシャルサポートについて理解する。 ・健康教育の概念と歴史について理解する。
3	10	7	月	3	相澤	保健行動論(1) 保健行動に関わる社会的要因 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行動の種類を理解する。 ・保健行動に関わる社会的要因について理解する。
4	10	7	月	4	相澤	保健行動論(2) 保健行動のモデル (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・KAPモデルについて理解する。 ・自己効力感について理解する。 ・ヘルス・ビリーフ・モデルについて理解する。
5	10	21	月	3	相澤	保健行動論(3) 保健行動に関わる心理的要因 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカス・オブ・コントロールについて理解する。 ・ストレスとコーピングについて理解する。 ・フレーミング効果について理解する。 ・計画的行動理論について理解する。
6	10	21	月	4	相澤	保健行動論(4) 総合的協働型健康づくり (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・プリシード・フレームワークについて理解する。 ・プリシード・プロシード・モデルについて理解する。
7	10	28	月	3	相澤	保健行動論(5) エンパワーメント教育 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・エンパワーメント教育について理解する。 ・トランス・セオレティカル・モデルについて理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	10	28	月	4	相澤	ライフスキル教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスキル教育について理解する。 ・セルフエスティームについて理解する。
9	11	11	月	3	相澤	カウンセリングの基礎 (五. I-3-A、 八. I-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基礎について理解する。 ・非指示的カウンセリングについて理解する。 ・受容と共感について理解する。
10	11	11	月	4	相澤	ヘルスコミュニケーション (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスコミュニケーションについて理解する。 ・解釈モデルについて理解する。
11	11	14	木	1	岸	プライマリ・ケアと医療情報管理 (五. I-3-A~E、 八. II-1-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導で適切な情報収集を行うため、対象疾患の特性と対処法の原則を習得する。
12	11	14	木	2	岸	POSとPOMR メディカルインタビューの基礎 (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導で適切な指導記録を作成するため、POSにもとづくPOMR作成方法を習得する。
13	11	21	木	1	岸	患者立脚型評価とQOL(1) (五. I-3-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントから満足を得る保健指導を行うため、患者立脚型アウトカムについて理解する。
14	11	21	木	2	岸	患者立脚型評価とQOL(2) 保健指導における 患者の権利への配慮 (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントから満足を得る保健指導を行うため、患者の観点に立脚したアウトカム評価と医療情報収集情報を習得する。
15	11	28	木	2	岸	保健指導におけるEBM (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な保健指導を行うため、EBMの方法を習得する。
16 ・ 17	11	28	木	3 ・ 4	岸 (相澤) 佐藤	保健指導法演習(1) POS (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習の中で実際にPOMRを作成する。
18 ・ 19	12	2	月	3 ・ 4	相澤 (岸) 佐藤	保健指導法演習(2) ロールプレイ① (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイによって、患者の物語を理解する方法を学ぶ。
20 ・ 21	12	9	月	3 ・ 4	相澤 (岸) 佐藤	保健指導法演習(3) ロールプレイ② (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイによって、患者の物語を理解する方法を学ぶ。
22 ・ 23	12	17	火	1 ・ 2	佐藤	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で得た知識を臨床で実践できるよう、総合的に理解を深める。

第3学年 栄養指導法

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	医療法人 謙和会荻野病院 栄養科 工藤綾子 教務主任 鈴木奈津子
一般目標	歯科保健指導の一環として、歯科衛生士がライフステージ別の個人あるいは集団の人々に対し、歯科疾患・口腔機能の育成・口腔機能の維持を考慮した栄養・食生活指導をおこなう能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版) エキスパート管理栄養士養成シリーズ栄養教育論第2版(化学同人) 「オールガイド五訂増補 食品成分表2018」(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	7	8	月	3	鈴木	概論 ・歯科における栄養指導の必要性 (八. IV-2-B、V-1-C・D)	・歯科における栄養指導の必要性和歯科保健指導を行ううえでの位置づけについて理解する。
2	7	29	月	1	鈴木	歯科疾患と栄養・1 ・オーラルフレイルと低栄養 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・オーラルフレイルについて説明できる。 ・オーラルフレイルと低栄養との関係を概説できる。
3	7	29	月	2	鈴木	歯科疾患と栄養・2 ・齲蝕と甘味料 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・齲蝕と甘味料の関係について説明できる。 代用糖について説明できる。
4	9	2	月	2	鈴木	歯科疾患と栄養・3 ・酸蝕 ・その他の口腔疾患 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・食事と酸蝕について説明できる。 ・口腔疾患と栄養素の関係について説明できる。
5	10	2	水	4	工藤	現在の栄養指導 ・食育とは ・食事バランスガイド ・メタボリック症候群 (八. V-1-C・D、3-A・B)	・栄養指導の基礎について学ぶ。 ・食育について説明できる。 ・健康を維持する為のバランスの取れた食事について説明できる。
6	10	9	水	4	工藤	疾患別栄養指導法・1 ・糖尿病 ・脳血管障害 (八. V-1-C・D、3-A・B)	・歯科疾患とかかわりの深い全身疾患に対する栄養指導法について理解する。
7	10	16	水	4	工藤	疾患別栄養指導法・2 ・骨粗しょう症 (八. V-1-C・D、3-A・B) 嚥下障害と栄養ケアの実際 (八. V-1-C・D、3-A~C)	・歯科疾患とかかわりの深い全身疾患に対する栄養指導法について理解する。 ・摂食障害を抱える高齢者の適切な食形態について理解する。 ・NST(栄養サポートチーム)の働きについて理解する。
8	12	10	火	1	工藤 鈴木	定期試験(筆答)	

第3学年 歯科診療補助法

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師 福田恵理子 城内明日香 高橋径子
一般目標	歯科医療現場において各診療のより実践的な補助に対応するため、検査・治療の手順を理解し、器材の取り扱いに習熟する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	8	月	1	佐藤	第3講義室	X線撮影における診療補助 1)放射線防護 2)口腔内撮影の補助 3)フィルムの現像と管理 (九. I-5-B、 X-1-A・B、2-A・B、 3-A、4-A~C) レーザー治療 1)レーザーとは 2)レーザー装置について 3)取り扱い 4)患者への説明 (九. I-5-C)	・歯科治療で頻繁に使用されるX線検査について、適切な撮影補助と現像と管理ができる。 ・歯科治療で使用されるレーザー治療について、適切な撮影補助と管理ができる。
演習	4	15	月	1・2	佐藤	第2実習室 実験室	新入生歓迎ブラッシング指導 1)スタディモデルの作製 (トリミング)	・モデルトリマーを使用し、スタディモデルを完成させることができる。
2・3	5	13	月	1・2	佐藤 福田 高橋	第1実習室	テンポラリークラウンの作製 1 1)テンポラリークラウンの種類 2)作製手順(前歯部) (九. IV-4-A)	・テンポラリークラウンの前歯部の作製手順、使用器具、材料を学び、作製ができる。
4・5	7	1	月	1・2	佐藤 城内 高橋	第1実習室	テンポラリークラウンの作製 2 1)テンポラリークラウンの種類 2)作製手順(臼歯部) (九. IV-4-A)	・テンポラリークラウンの臼歯部の作製手順、使用器具、材料を学び、作製ができる。
6	9	2	月	1	佐藤	第3講義室	周術期における歯科診療補助 1)周術期口腔機能管理の概要 2)病態の把握 3)治療時の対応 (六. IV-2-K、 九. V-6-A)	・周術期における口腔機能管理の概要を説明できる。 ・周術期の病態とその治療法を説明できる。 ・術前、術中、術後の歯科衛生士の対応を説明できる。
7	9	9	月	1	佐藤	第3講義室	漂白法 1)漂白法の種類 2)漂白法の手順 3)使用器具・材料 (六. II-1-F、 九. III-5-A・B)	・漂白の手順を説明できる。 ・漂白法の使用器具や材料の名称と用途を説明できる。
8	12	10	火	3	佐藤	第3講義室	定期試験	

第3学年 インプラント歯科診療補助法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	歯学部 補綴・インプラント学講座 教授 近藤 尚知 歯学部 補綴・インプラント学講座 講師 高橋 敏幸 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 高藤 恭子 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 折祖 研太 教務主任 鈴木 奈津子
一般目標	口腔インプラントにおける円滑な診療補助と適切な口腔内操作をおこなう為に、インプラントの基本的知識、歯科衛生士の担う役割について学ぶ。術式に関しては、ブローネマルクシステムについてとりあげる。
成績評価	出席30%、筆記試験の成績70%で総合評価する。
教科書	歯科衛生士のためのインプラントメンテナンス(医歯薬出版)
参考書	「インプラント治療のためのアシスタントワークとメンテナンス」(クインテッセンス出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	2	水	2	近藤	1. 一次・二次手術の補助 2. 上部構造の補助 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・一次手術、二次手術における器具の準備と介補の方法を術式に沿って説明できる。 ・上部構造の介補法を術式に沿って説明できる。
2	10	9	水	2	近藤	1. インプラントにおけるメンテナンスの実際 2. 偶発症 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を理解し、インプラント部における注意事項、使用できる器具について説明できる。 ・偶発症について説明できる。
3 ・ 4	10	16	水	1 ・ 2	近藤 高橋 高藤 折祖	1. インプラントにおける印象採得 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの印象採得の方法について説明できる。 ・インプラントの印象採得に使用する器具の説明ができる。
5 ・ 6 ・ 7	11	22	金	1 ・ 2 ・ 3	鈴木	1. インプラント治療における歯科衛生士の役割 2. ブラッシング指導の実際 (相互実習) (八. III-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラント治療における歯科衛生士の役割を説明できる。 ・インプラント治療を希望する患者を想定しブラッシング指導を行うことができる。
8	12	12	木	1	近藤 高藤	定期試験	

第3学年 救急蘇生法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 准教授 佐藤雅仁 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 助教 三浦 仁
一般目標	歯科衛生士の業務は歯科診療補助、歯科予防処置と歯科保健指導であるが、高齢社会を迎え、合併症を有する歯科患者の数が増加傾向にある。そこで歯科衛生士として必要な全身的な合併症の知識や偶発症発生時の対処と実践を学習し、救急処置を実践できるように習得することを目的とする。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生士版「全身管理と救急蘇生法」（学際企画）
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	月	1	佐藤	全身状態の評価 1)全身状態の評価 2)モニタリング (六. I-1-A・B、 IV-4-A・B、 九. XI-1-A~C)	・全身評価の基本となる問診において、注意すべきポイントについて説明できる。
2	10	21	月	1	三浦	救急蘇生法 1 1)救急蘇生法とは 2)酸素療法 (六. IV-5-A・B、 九. XI-2-A・B)	・救急蘇生法の概要について学び、一次・二次救命処置・CPRの手順について説明できる。 ・酸素療法について説明できる。
3	10	28	月	1	三浦	救急蘇生法 2 1)体位 2)患者の搬送 3)加温と保温	・体位の種類や患者搬送時の注意点、加温・保湿による体温管理の必要性を説明できる。
4	11	11	月	1	三浦	救急蘇生法 3 救急蘇生法 (CPRのABC) (六. IV-5-A、 九. XI-2-A)	・気道確保、人工呼吸、心マッサージなどの救急蘇生法を習得し説明できる。
5	11	18	月	1	三浦	実習 1 (CPR) (六. IV-5-A、 九. XI-1-A~C、2-A)	・講義で習得した救急蘇生法を実践できる。
6	11	25	月	1	三浦	実習 2 (CPR+AED) (六. IV-5-A、 九. XI-1-A・B、2-A)	・講義で習得した救急蘇生法を実践できる。
7	12	2	月	1	佐藤	一般的な救急処置 1)外傷 2)止血法 3)熱傷	・外傷などの一般的な救急処置について理解する。
8	12	12	木	2	佐藤 三浦	定期試験	

第2・3学年 病院等臨床実習

時間数	758時間
担当者	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師 歯科衛生士 診療放射線技師 岩手県立中央病院 歯科医師 歯科衛生士 歯科診療所 歯科医師 歯科衛生士 盛岡市保健所 歯科医師 歯科衛生士 医療法人社団 帰厚堂 南昌病院 医師 歯科衛生士 看護師
一般目標	歯科衛生業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術、態度を身につける。
成績評価	出席、実習評価を総合して成績評価とする。
教科書	
参考書	平成30年度生 臨床実習必携 平成30年度生 臨床実習帳

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標				
101	10	16	火	1	各施設 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔外科 口腔総合診療科 矯正歯科 小児歯科 口腔ケア外来 口腔インプラント科 障害者歯科 歯科放射線科	<ul style="list-style-type: none"> 診療室のルールを理解できる。 医療安全管理に配慮した行動ができる。 感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。 各症例について概要を理解できる。 治療の流れを理解し、関連する技術を修得する。 口腔衛生指導ができる。 患者誘導、ライティング法、バキューム法ができる。 				
		12	14	金				4			
	11	1	15	火				1			
		3	15	金				4			
	H31年度	4	23	火				1			
		8	2	金				4			
	H31年度	8	27	火				1	岩手県立中央病院 歯科診療所 <実習項目> 1. 診療開始前の準備 2. 器材器具及び材料の取り扱い 3. 歯科診療補助及び介助 4. 歯科予防処置の実技及び補助 5. 保健指導の実技及び補助 6. 患者誘導及び接し方 7. 各症例ごとの前準備・後始末	<ul style="list-style-type: none"> 治療の流れを理解し、関連する技術を修得する。 口腔衛生指導ができる。 患者誘導、ライティング法、バキューム法ができる。 	
		9	20	金				4			
	H31年度								盛岡市保健所 歯科医師 歯科衛生士	盛岡市保健所 1. 3歳児健康診査の見学 (1) 対象者の見学 ①オリエンテーション ②健康診査 (問診・計測・小児診査) (2) 歯科健診・歯科保健指導の見学 (3) 健康診査後のカンファレンスの見学	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市保健所における3歳児健康診査を見学し、歯科保健事業について説明できる。 3歳児の身体的特徴と、口腔内について説明できる。 3歳児に対する歯科保健指導ができる。 保健所の他職種との連携について説明できる。

第3学年 臨地実習 [模擬患者実習③]

時間数	6時間
担当者	教員 太田彩香
一般目標	口腔の健康管理を行うために、歯科予防処置論、歯科保健指導論を総合的にとらえ実践できる知識・態度・技術を身につける。
成績評価	実技評価、歯科衛生過程ファイル、日常点により総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	「よくわかる歯科衛生過程」(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	11	5	火	1 ～ 4	太田	模擬患者に対する口腔衛生指導実習 1) 患者誘導(術前) 2) 問診 3) 口腔内写真撮影 4) 歯周組織検査 ・歯周ポケット測定(6点法) ・BOP ・付着歯肉幅の測定 ・歯牙動揺度検査 ・オレリーのPCR 5) ワンポイントブラッシング指導 6) 媒体指導 7) 歯面研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。 ・医療面接から対象者の生活習慣と生活環境を把握できる。 ・口腔内写真の撮影・補助ができる。 ・各歯周組織検査ができる。 ・口腔内のリスクに応じた指導ができる。 ・対象者に合ったブラッシング方法を具体的に説明することができる。 ・媒体を使用し、わかりやすく説明することができる。 ・術者の正しい姿勢を保持しながら、歯面研磨をすることができる。 ・チェアサイドにおいて補助・介助ができる。 ・術後の注意をわかりやすく説明することができる。 ・業務記録をSOAP形式で記録することができる。
2	11	6	水	1 ～ 4			

第3学年 研究

時間数	45時間 (2時間×23回)
担当者	教務主任 鈴木奈津子 教員 金子由美子 鳥畑美香 佐藤佳奈枝 太田彩香
一般目標	問題発見・問題解決を基本とした歯科に関する研究の基本的な内容を学び、実際に研究へ取り組むことにより、テーマ設定から論文作成、発表までの手法を習得する。また歯科衛生士としての研究活動の必要性を理解し、科学的思考能力を身につける。
成績評価	研究レポート、発表、日常点により総合評価する。
教科書	
参考書	「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第2版」(医歯薬出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標		
1 ・ 2	4	17	水	1 ・ 2	鈴木 金子 鳥畑 佐藤 太田	学生の研究取り組み 1) テーマの検討 2) 作業仮説の立案 3) 参考文献調査 4) 調査研究のための指標と方法 5) 調査・研究対象の設定 6) 調査・研究項目 7) データのまとめ 8) 検定 9) 統計図表 10) 考察 11) 結論 12) 引用文献の表記法	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの検討から結論までの作業仮説を立案し、実際に研究を進めることができる。 研究データの収集と分析ができる。 		
3 ・ 4	4	19	金	3 ・ 4					
5 ・ 6	9	24	火	3 ・ 4					
7 ・ 8	9	26	木	3 ・ 4					
9 ・ 10	10	3	木	3 ・ 4					
11 ・ 12	10	8	火	3 ・ 4					
13 ・ 14	10	15	火	3 ・ 4				研究集録作成 発表用スライド作成	<ul style="list-style-type: none"> 研究論文の原稿をまとめ、発表用の研究集録を作製することができる。 口演発表用のスライドを作成することができる。 発表原稿の作成ができる。
15 ・ 16 ・ 17	11	20	水	1 ・ 2 ・ 3					
18 ・ 19 ・ 20	12	18	水	1 ・ 2 ・ 3				研究発表会リハーサル	<ul style="list-style-type: none"> 研究結果を適切な表現で発表できる。
21 ・ 22	12	19	木	1 ・ 2				研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> 研究結果を口頭発表し、質疑応答ができる。
23	12	19	木	3				研究まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表会での質疑応答内容を整理し、研究のまとめができる。

第3学年 接遇

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	ヒットビジネスコンサルティング 及川敦子
一般目標	保健医療の現場において、組織の一員としての正しい接遇・マナーを身につけ、仕事に対して専門職としての意識を持てるようにするために、医療及び福祉における接遇の具体例を習得する。
成績評価	レポート(70%) 日常点(30%)
教科書	社会で生きる 実践 ビジネスマナー(ウィネット) 歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション (ウィネット)
参考書	ヒット・ビジネスコンサルティングオリジナルシート集

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	16	火	4	及川	面接の実際－(1) 1)入室から退室までの動作の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
2	10	2	水	3	及川	面接の実際－(2) 2)入室から退室までの動作の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
3	10	9	水	3	及川	面接の実際－(3) 3)面接時の敬語、表現の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
4	10	10	木	3	及川	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え（グループワーク） 1)組織（チーム）とは何かを学ぶ 2)チームワークとコミュニケーション	・組織について説明できる。 ・組織内の対人関係の在り方について説明できる。
5	10	16	水	3		3)チームの一員として仕事を進める 4)好感・信頼感を高めるコミュニケーション	・情報の共有・報告・連絡・相談の重要性を説明できる。
6	10	30	水	4		5)ケア・コミュニケーションにおける声かけを学ぶ 6)相手に敬意を払う態度と表現を学ぶ	・患者・利用者に適切な声かけができる。 ・相手の人格・価値観の受容ができる。
7	10	31	木	2	及川	接客の実際 1)ビジネスマナー	・名刺の受け渡しができる ・来客にお茶を出すことができる。
8	11	7	木	3	及川	福祉と接遇 1)非言語表現 2)障害を持つ人への接遇 3)高齢者へのマナー レポート	・障害を持つ人への接遇を説明できる。 ・非言語表現を実践できる。 ・高齢者への接遇マナーを説明できる。 ・テーマに沿った内容を記述できる。 ・具体例を列挙することができる。 ・自分の考えを述べるができる。 ・丁寧な文字で記述できる。 ・期限内に提出することができる。

第3学年 特別講義

時間数	6時間
担当者	教養教育センター人間科学部(心理学・行動科学分野) 教授 相澤 文恵 盛岡保健所 歯科衛生士 主査 田頭 敦子
一般目標	
成績評価	出席等をもって評価する
教科書	臨床実習帳 《 盛岡市保健所 》
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1					田頭	盛岡市保健所実習オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査における盛岡市保健所の役割を理解する。 ・3歳児健康診査における歯科健診・歯科相談・歯科保健指導のありかたについて理解する。 ・保健所における歯科衛生士の役割、業務内容を理解する。
2	9	9	月	3・4	相澤	行動科学(KJ法)	<ul style="list-style-type: none"> ・KJ法の手法を学ぶ。 ・グループワークにより、意見集約が出来る。